

基本理念の現状と課題

基本理念4 「人材育成と共に森づくり」について

1 「人材育成と共に森づくり」の概要

- 継続的な森林管理を行うためには、多様な人材が必要なことから、森づくりの担い手を育成するとともに、市民との共働による森づくりを推進すること（森づくり条例第3条第1項（4））
- そのための基本的施策が以下4つ
 - 基本的施策① 森づくりの担い手となる**人材及び事業者の育成**（条例第14条）
 - ② 共働による森づくりに向けて、活動の場の提供と活動への支援（条例第13条）
 - ③ 森林環境教育の推進（条例第15条）
 - ④ 森づくりの普及啓発（条例第16条）
- 基本的施策①「森づくりの担い手の育成」は、**森林整備・林業**の人材を対象

2 これまでの取組の現状

| 現構想 | 取組 |
|--|--|
| <p>7 森づくり人材の育成 p.21 (基本的施策①)</p> <p>(1) 豊田市の森づくり人材像</p> <p>(2) 森づくり人材の育成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 森林施設プランナー等の育成 ② 国内外の林業教育・研究機関との連携による人材育成 ③ とよた森林学校講座の活用 ④ 「緑の雇用」事業等の活用 ⑤ 市における専門職員の育成 | <p><育成></p> <p>森林施設プランナー 岐阜県立森林文化アカデミーや岐阜県森林研究所等による研修「森づくり人材育成研修」 組合職員12名（H30～R03）</p> <p>森林作業員 ・専門大学校等への就学支援「新規就業者育成支援」3人/年（R2～） ・安全管理技術の習得支援「森林作業員技術基礎研修」（R5～）</p> <p>セミプロ 森林作業員不足の補完「セミプロ林業作業者養成講座」（H18～H30）130人</p> <p><確保></p> <p>森林作業員等 ・緑の雇用事業の活用 豊田森林組合計144名（H17～）</p> |

| | | |
|------------------------------------|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 高校生対象の職場体験「林業体感・見学ツアー」（R6～） 森づくり団地化推進員の募集（H21～） <p>市職員 専門職員を4名確保</p> | <ul style="list-style-type: none"> 市有林を企業CSR活動や森林ボランティア団体の活動拠点として提供 |
| 9 共働による森づくり p.23 (基本的施策②) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民への活動の場の提供 (2) 森づくり活動への支援 | <ul style="list-style-type: none"> 森林活動に関わる人材の育成「とよた森林学校人材育成コース」受講者1,057人 このうち、間伐ボランティア養成講座から毎年1団体が新規発足し、最大15団体に拡大（H18～） 森林ボランティアの活動を円滑にするための道具や保険の支援「森林ボランティア始動支援/安全対策」 「森の健康診断」に森林課も参加・協力し、当初構想の参考に |
| 10 森林環境教育の推進 p.24 (基本的施策③) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民への普及啓発 (2) 学校教育との連携 | <p>出前講座 受講者18,493人（H18～） とよた森林学校による普及講座「森の応援団コース」 受講者2,952人（H18～）</p> <p>教職員の初任者研修、教材整備、校外学習支援など、学校や地域と連携した森林環境教育プログラム（流域学習） 延べ14校1,389人（R3～）</p> |
| 11 とよた森づくりの日及び森づくり月間 p.24 (基本的施策④) | | <p>啓発イベント「ウッドトイカーニバル」（H28～R02） 「森づくり月間イベント」 参加者約5,500人（R5）</p> |

3 課題

- 森づくりの担い手として、豊田森林組合の森林作業員数が55名（R6）であり、現状ではまだ不足
- 長期的な定着と育成が課題（緑雇用は延べ144名採用・在籍は48名（R6））
- 将来的には人口減少と高齢化が進行し、人手不足が深刻化

4 今後の方向性

- 森林作業員の確保と育成を重点課題として進める**
- 共働、森林環境教育および普及啓発は継続して取り組む